

## 鉄流星の温度測定(永井和男)

昨年の給付金で $\alpha 7s$ が買えたのでハイビジョンで分光が出来るようになりました。分散は増えたことで輝線の分解能が増えました。これによって鉄輝線の各強度が測れるようになりました。昨年(2020年)の8月11日に鉄流星のスペクトルが取得出来ましたので試しに温度測定を行いました。3060K程度となりました。